

● 地域説明会 18日 八幡文化センター 132枚のポスターを展示

八幡文化センターは展示会場を借用できました。宇治市南コミセンでは約30枚のブースを二階から下ろして組み立てなければならず、倉庫の奥から取り出し、それを狭いエレベーターで一階に降ろし、会場に持ち込んで組立しました。想像以上に手間がかかり、体力的にも非常に大変でした。展示前の準備に時間がかかり約1時間を費やしたことになります。組立にも30分以上の時間が必要でした。周囲にボードが揃って、展示物の貼り付けです。ところが持ち込んだ作品が多くて全部展示できず、山城の歴史の部分を中心に90枚を目途に展示しました。この作業では順番の狂いを防止するために、時間がかかりました。椅子や机など講演会風に整え終わったのが11時30分でした。講師の都合があって直ちに仁枝さんのお話を開始しました。約1時のお話で、主に桂川での清掃活動について詳しい解説でした。今週18日の八幡市文化センターでは、展示専用設計されているので、ブースの運び出しなどはなく、直接壁にピン止めが可能でした。11時過ぎには宇治市の倍近い132枚のフレームを張り終えました。それでも枚数が多くて、3時間弱の作業でした。この2回の経験から次のような教訓を学びました。

展示会場の設営には、私物や備品等は必要物も含めて主会場には置かないことです。準備の障害になります。二つ目にはブースの運び込み作業を最優先に行い、組立はコーナーから始めることです。そしてブースの組み立てと同時に展示物をブース前に順序良く並べ全体の調整を行います。整然と並べられてこそ美しく見やすい展示会となります。全体の配置位置が決まればその位置で持ち上げて一定の高さに固定することになります。この取り付けは一斉に実行することで時間を短縮できます。今回で三回目となる城陽市北コミセンでこの教訓を試してみます。ご協力いただくスタッフの皆さん宜しくご協力ください。当日9時から準備を開始、11時には完了したいものです。

八幡市会場では竹蛇籠モデルを展示しました。4mというとても大きな品物ですが、部屋に持ち込むとさらに大きさと迫力があり目を引きました。初めてご覧になる方は、「これ何？」という質問がたくさん寄せられました。従って竹蛇籠について説明文を取り付けます。次にこの展示は1日だけでは、もったいない、もう少し長い時間お願いとリクエストがありました。しかし数日間の連続借用は予算の経費の関係で難しいものです。事前連絡や後方には随分と大きな課題がありますので、ぜひ時間調整を行ってお越しく下さい。なお見逃した方には次回3月3日または3月18日にお越しく下さい。

各会場での解説とガイドについては日替わりで行っています。八幡市では竹門先生のお話で、底生生物のお話が詳しくいただき大変興味がわいてきたという感想が寄せられています。また、木津川をどの時代の川に戻すのかという課題を投げかけていただきました。

● 静岡県「川じまん大会」

(17日静岡市科学館 る・く・る)からご案内があって、京都の取組みの紹介をと、お招きがって参加してきました。川で活動する団体の活動発表です。里山の会は竹蛇籠と聖牛の取組みを原小組さんとともに紹介しました。反響は、京都から近畿、九州や四国中国地方でも取組みが始まっていることに驚きの声がありました。各発表団体では若者が中心になって新鮮な感覚で取組みを展開されていることが強く印象に残りました。

原小組さんは大井川で流水プールを作ってその維持管理をボランティアで行っておられることをお聞きしました。その写真を添付しています。木津川では川流れの体験を取り入れています。川の流れを安全に体験できる施設も素晴らしいと羨ましく思いました。

● 今年もカスミサンショウウオ卵囊発見 16日

昨年1月22日にカスミサンショウウオの成体を発見しています。2月の中旬にはきつと卵囊が見られるだろうと、もくろんでいましたが、桜谷先生と一緒に観察に出かけてみると見事に卵囊が発見されました。それも最初に見ていた池には居なくて、もう一つの池を調べて、帰り道に再度点検してみると見事に卵囊が見つかったのです。他の池を調べている間に産卵したようです。素晴らしい発見でした。

初めて参加された皆さんがワンチャンスで出会えたのは本当に幸せだと思います。

### ● 白土山への通路実現への取組み 16日

午後 里山農園の大きな魅力はこの谷の奥 300mほどの先に化学洗剤が普及する以前は、初期洗いはパウダー(自然素材)の白土が主流でした。その白土の産出跡が洞窟として残されているのです。大村氏など地元の人たちは、しっかりとその印象をお持ちです。里山農園の新しい魅力として此处への通路の整備で地域の歴史の一端と人々の暮らしを知る装置として大切と考えてきました。

2018年度の夏原グラントの助成金を申請して実現を図るつもりです。その申請のため資料収集を兼ねてルート点検を行いました。中西 深田 有田 桜谷 大村氏が調査しました。新しい魅力の発掘です。

### ● 里山展終了する 18日

「山城の歴史と木津川」「木津川ってどんな川」「木津川の草花たち」にこれまで以上の人気が集まりました。思わぬ購読申込が多数ありました。里山展と1日開催の地域説明会の展示物の撤収が同時刻重複していたので錯綜が考えられましたが、二手に分かれて支障もなくうまく撤去が行えました。スタッフ事務局の面々の経験がものを言ったのです。京田辺図書館では6日間の連続開催でしたが、ここでも発行本の人気が高く思いもよらない購読申し込みが続きました。「山城の歴史と木津川」の30枚のフレームによって、理解が進み興味を持っていただけたのではないのでしょうか。購入ご希望の方は事務局へ、または地域展示会会場までご連絡ください。

### ● 植物部会開かれる 16日午後

木津川希少植物調査業務の調査点検のために23日全コースを調査決定しました。この二日間の陽気は春の訪れも一挙に来るのではないと思わされますが、野草からも春の訪れを感じさせます。きっと木津川の堤防ではその息吹が始まっているはず。河川協力団体として業務の発注をいただいた木津川希少種植生調査について2月度の調査を実施すべく打合せを行いました。6名の熱心な皆さんのご意見があって次週23日に受け持つ27か所の管理地を調査することに決まりました。

### ● 3月中に 春の草刈作業を実施

2017年度の業務では3月までに除草作業を行うことになっています。元気な芽だしのために少し早いですが、冬の残り物を除去し芽をだしやすくするために少し手を加えて生育調査を行います。お手伝いにお越しいただくと本当に助かります。

### ● 県外視察研修旅行3月8日出発 紀伊半島災害復旧視察を決定

行き先は熊野川水系を中心に計画。宿泊が決定 那智勝浦市・ホテル「一の滝」で、素泊まり(かけ流し源泉の温泉)です。経費は一泊5150円と夕食(夕食)を併せて個人負担です。夕食は食事処で各自の好みを注文していただきます。ホテルの経営者は熊野古道を守る会の活動をされている方で、古道の案内ガイドを引き受けていただくことも可能です。この日の最後のスケジュールとして夕食前に那智熊野市の市会議員さんから地元のお話を願いました。遅れましたが準備が整いました。現在参加申込みは10名となっています。若干の余裕あります。

### ● 地域説明会 24日(土) 城陽市北コミセン大会議室

スタッフ集合時間9時でお願いします。約40枚のブースの運び出しと組立が大仕事です。お手伝いをお願いします。16時からの撤収にもご協力ください